○プログラム概要:

・英語レッスン

現地校のバーチャル見学、イギリスの教育制度、イギリスの SDGs 事情、ホームステイ英会話、ジェンダー問題、など、4 日間、述べ8コマ(1コマ60分)のレッスンで、実生活に関する英語を学びます。

・プレゼンレッスン

テーマ選択・構成プラン・原稿作成・発音指導など、4日間で完成します。

・アクティビティ

コッツウォルズ地方・ストラッドフォード巡り、オックスフォード大学の生活、イギリスの必修科目である ドラマレッスン、など、生きた教材を用い、インタラクティブ形式の授業で学びます。

・オンライン交流

イギリス人とのアットホームな雰囲気の交流で、時間を追うごとに現地との距離が縮まることを実感します。 大人、大学生、高校生、さまざまな世代の人たちと毎日 75 分、ノンストップで会話します。日本は夕刻、英国は早朝です。

○各日の内容:

Day 1 --- 8月2日 (月)

朝からとても暑く、蝉の大合唱が響く中、English Challenge Program (ECP)が始まりました。2019 年度までは、Cheltenham で行われていたプログラムですが、コロナのため、昨年は実施されず、今年度は、国内開催となりました。

午前中は、ネイティブの先生のオールイングリッシュの授業を受けました。イギリスについて、クイズを 交えて楽しく学び、後半は自己紹介の練習をしました。

午後は、日本の紹介を練習し、Zoom でのセッションに備えました。その後、コッツウォルズ地方について学び、バーチャルツアーで美しい景色を楽しみました。





そして、いよいよ、Zoom による現地のホストファミリーの人たちとのセッション。画面越しに、自己紹介や趣味など生き生きと話す様子は、本当に楽しそうでした。あっという間に1時間 15 分のセッションは終わってしまいましたが、明日は、現地の大学生とのセッションです。

とにかく、英語をたくさん聞き、話し、たっぷりとコミュニケーションを楽しんだ初日でした。





Day 2 --- 8月3日 (火)

朝は小雨が降っていましたが、授業が始まる頃には夏の青空が広がっていました。初日はやや緊張している面持ちの生徒もいましたが、オールイングリッシュの授業にも慣れ始め、みな、さらに積極的に授業に参加し始めました。

午前の英語レッスンでは、現地の具体的な学校生活についてレクチャーやギリスの教育制度などについて 学びました。また、伝統的なイギリスの家屋に関することも学習しました。





午後の授業では、プレゼンテーションの内容が本格的なものになってきました。今日は日本の観光地について調べ、プレセンテーションをしました。明日以降のプログラム後半は昔ながらの日本の遊び道具について、発表することになっています。



昨日に引き続き、一日の最後、現地の大学生と Zoom で会話をしました。比較的年齢が近いということもあって、笑顔と発話の量が昨日に比べ大幅に増えました。「英語でもっと話をしたい」、という気持ちが生徒たちの表情から読み取れました。ブリティッシュのアクセントもあまり気にならなくなってきたようです。早いものでプログラムの半分がすでに終了しましたが、まだ 630 分、授業が残っています。



Day 3 --- 8月4日 (水)

3日目が始まりました。2日間を終え、生徒たちの表情も自信に満ちてきたようにみえました。 午前の英語レッスンでは、現地の若者文化やイギリスにおける SDGs の活動について学びました。



午後の授業では、新たな題材のプレゼンテーションの準備にとりかかりました。要領がわかってきたため、スピードアップです。ペアでのやりとりもさらに活発になってきました。紙とデジタルデバイスの両方を用い、各自が最適な材料を選び、準備をします。恒例の英会話、Zoom の本日のお相手は現地の高校生たちでした。各ブレイクアウトでは、共通の好きなシンガーの話題で盛り上がるなど、とても楽しそうにしていました。



プログラムもついに明日で終了です。4日間の成果がどんなプレゼンテーションに仕上がっているのか楽しみです。

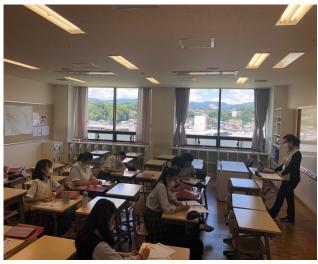
Day 4 --- 8月5日 (木)

「あっ」という間に 4 日目をむかえました。毎朝、多目的室という大教室で朝のミーティングをしますが、 全員、体調もよく元気いっぱいです



午前の英語レッスンでは、イギリスの食べ物や BBC ニュースについて学びました。 "spike, surge, amid…" といった Covid-19 関連の語彙など、普段の授業では学べない時事英語について学習しました。また、昨日の東京オリンピックにおける日本人アスリートの活躍も話題にのぼりました。





午後、最初の授業はプレゼンテーション発表です。昨日の宿題にもなっており、個々の成果物をやや緊張 しながらも一生懸命披露していました。





午後、2つ目はドラマレッスンです。日本には馴染みのない授業で、最初は戸惑いもありましたが、徐々に 開放感を味わい始め、コミュニケーションには NVC(ノンバーバルコミュニケーション)も意味をなしてい る、ということを再認識したようです。

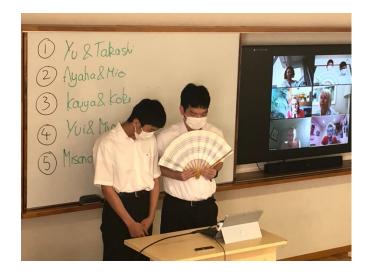


修了式ではひとりひとり、修了書を受け取り大きな拍手をもらいました。4日間の頑張りについて、ネイティブの先生からていねいに言葉をかけてもらいました。





今日も1日の最後はライブセッションです。初日と同様、ホストファミリーと繋がり、時間をかけて準備してきたプレゼンテーションを見てもらいました。たった4日間という短い期間でしたが、英語コミュニケーション能力の向上を実感してもらえたようです。





最後に全体リーダーの生徒と高等部の教頭先生からのスピーチで、この 21 時間英語集中プログラム"ECP" を締め括りしました。





○参加生徒の感想:

「いつもは日本人が英語を話しているのを聞いて英語を学んでいるけど、本場の外国人と話して日常との 違いを感じられ、とても楽しかった。」

「同じくらいの歳の子たちと話し合えて、国境を越えての共通点も見つけることが出来たので良かったです。」 「大学生との会話では、自分たちの将来にも関係する話などがたくさん出てきてとても興味深かった。また、ファミリーの方も同学年の子達とも優しく話してくださって嬉しかったです。」

「最初は不安もありましたがフレンドリーな先生のおかげでたくさん英語を話すことができました。普段はシャイであまり教室でも発言しないのですがこのプロジェクトでは積極的に話すことができて新たな自分に出会えました。」

「英語を話すことに対する主体性、積極性、表現力などたくさんの技能が向上できたきっかけとなって良かったです。授業内のリスニング、難しかったです。」

「一日中英語漬けだったので、いつのまにか自然と英語が出てくるようになりました。」





企画協力 CWA コッツウォルズ・ウインド・アカデミー(東京)